

10月



令和6年9月30日

みどり幼稚園



天高く青空が広がっています。

子どもたちと一緒にいると空を見上げることがけっこう多いことに気がつきます。飛行機やドクターヘリを見つけては空を見上げ、園バスに乗っている時も「白いお月様がずっとついてくるよ。」という子どもたちとバスの中から空を見続けた時もありました。空はその時々でいろいろな表情を見せてくれますが、何といっても清々しい秋の青空は格別です。

♡楽しかった遠足

先日の遠足は朝方の大雨(?)から一転し気持ちのよい晴天となりました。園バスの中は嬉しくてたまらない子どもたちの笑顔であふれ、笑いが止まらないようすでした。去年は雨で行けなかったカワヨ牧場の原っぱにシートを広げて「ほんとうにてるてるぼうずの力ってすごいね。」などと言いながら、おいしそうに手作りのお弁当を味わっていました。

一方、年長組さんは、昨年引き続き、青い森鉄道を利用して一足早く出発。浅虫駅から水族館までの往復をリュックを背負ってなんと歌を歌いながら歩いて来たそうです。元気に無事に幼稚園に到着し、おうちの方々もほっとされたことと思います。

お天気が本当に心配な遠足でしたが、皆様方のご協力のもと欠席者も一人もなく楽しい遠足となりました。ありがとうございました。

♡10月5日は土曜参観日です。

今回は子どもたちが登園してから、朝の身支度、その後の自由遊びを保護者の皆様には見守りながら一緒に体験していただきます。ホールで遊びを楽しむ子、お部屋で自分の作りたいものを作ってみる子、異年齢での関わりの様子など保護者の皆様も遊びの中に入られての活動となります。

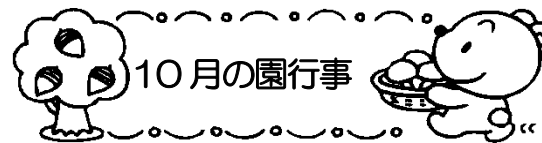
その後八戸童話会会長 佐々木和子様をお招きし「親子で楽しむ南部昔コ」を開催します。佐々木様からは「南部昔コ」のほかに保護者の皆様に向けて「私の子育て」についてのお話をさせていただきます。どうぞお楽しみにお待ちください。

園長 正部家 朱美



保育目標(10月)

- ※ 身近な秋の自然にふれ、自然の移り変わりに興味をもち、遊びの中にとり入れながら楽しむ。
(園外保育・落ち葉や木の実遊び・木の葉の色の変化・虫とり)
- ※ 表現遊びの中で楽器遊びをしたり、ピアノで簡単な曲を弾いたりする。
- ※ 運動遊びではルールのある遊びを通して、友達と遊ぶ楽しさを味わう。



10月の園行事

*10月1日(火)はお弁当の日です。水筒もお持ちください。



月	火	水	木	金	土
	1	2	3	4	5
	お弁当の日 衣替え りんご狩り (年長組)	体操教室 (年中組)	英語教室 (年長組) 園外保育 (年少・年中組)		保育参観日 家庭教育学級
7	8	9	10	11	12
振替休日	施設見学 (年長組)	体操教室 (年長組)	びよちゃんクラブ	カレーライス作り サッカー教室 (年中組)	休園
14	15	16	17	18	19
スポーツの日 (休園)		公開保育	英語教室 (年中組)	サッカー教室 (年長組)	預かり保育
21	22	23	24	25	26
	七五三お宮詣り 卒園クラス 写真撮影 (年長組)		英語教室 (年中・年長組) ハロウィン	大津波避難訓練	休園
28	29	30	31		
			びよちゃんクラブ ハロウィン		

10/3 年少・年中組 園外保育

10/25 ふたば・年少・年中・年長組 大津波避難訓練

※寒い場合はジャンパーなど防寒着を着用させてください。



令和5年度 自己評価報告書

令和6年4月5日
学校法人正栄学園 みどり幼稚園

1. 本園の教育目標

- ・明るく元気な子
- ・友達と仲良く遊べる子
- ・思いやりのあるやさしい子
- ・最後までやりとげる子

2. 本年度重点的に取り組む目標・計画

- 「生活する力」「関わる力」「学びに向かう力」の3つの柱のもとに子どもの姿を踏まえた保育者の関わり・環境構成を考え、実践する。

3. 評価項目の達成及び取り組み状況

	評価項目	評価	取り組み状況
1	特別な支援を必要とする子どものための園内の支援体制	B	保護者や施設関係者と面談や見学を通して子どもについての情報交換を行うことができた。 個別の支援計画を作成して園内での共通理解はできたが、どんな関わりが有効であったかなど具体的な話し合いも今後は必要となってくると考える。
2	教育の質のための研修の充実を図る	A	自ら研修したいことを積極的に学び、日々の保育に生かそうとする姿勢があった。園内研修は外部研修の報告が主だったため、お互いに意見を出し合える研修となるよう工夫していきたい。
3	子どもの主体性を伸ばす保育を目指す	B	運動会、音楽会の環境（会場）の変化にともなって行事の内容等工夫して行うことができた。 今後は子どもたちの主体性をより伸ばしていくという視点で遊びや行事の持ち方の環境作りを工夫していきたい。

評価（A・・・十分に成果があった B・・・成果があった C・・・少し成果があった D・・・成果がなかった）

4. 総合的な評価結果

評価	理由
B	3つの評価項目はそれぞれ具体的な方法で取り組み成果が認められた。また、新たな課題も見いだされ、全体として次のステップへ進もうとする意見もあった。行事等については工夫して行うことができた。

5. 今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	園内研修の充実	特別な支援の必要な子どもたちについての話し合いも含め、短時間でも教員が意見交換し研修できる工夫をする。
2	主体的な遊びの環境を工夫する	自由遊びの時間など、子どもたちの遊びがより主体的に発展していくものとなるよう環境の設定を工夫する
3	からだを動かす遊びの工夫	意図的にからだを動かす時間を作り、体幹を鍛えるようにし正しい姿勢を保てるようにする。


6. 学校関係者評価委員会の評価

- (1) 特別な支援の必要なお子さんへの配慮は園で十分研修し受け入れ体制を整えていると思われる。支援の必要なお子さんの保護者への関わりについても、今後は大事になっていくのかと思う。
- (2) 園での子どもの様子を知りたくなる親の気持ちはよく理解できるので、園バス利用のため、あまり園に来ることのない保護者に対しては、特に連絡帳などを通して子どもの様子を伝えてもらえると安心できるのではないかと思う。
- (3) コロナ禍で途切れていた行事も行えるようになり、行事を通して子どもたちや父母との交流がもてるようになってきている。


令和5年度の教育や運営に対する保護者アンケートのまとめ

令和6年3月8日

みどり幼稚園

幼稚園評価アンケートにご協力くださりましてありがとうございました。集計の結果が
出ましたのでお知らせします。全保護者のべ38名の皆様からご回答いただくことができ
ましたこと感謝申し上げます。今回のアンケートの集計は自分率ではなく実数そのものを
表示しました。A（そう思う）B（そう思うことが多い）の合計が38名の項目は ,
A、B合わせて34名以上は◎、30名以上を○として表示しております。

○ 昨年と同じ  は8、9、16、18、23の項目です。

○ 新たについた  は3、4、5、10、22の項目です。

○ 14項目の身近な人へのあいさつは昨年より下がり△となりました。家族内ではよくあいさつがさ
れているようですので身近な人たちにも少しずつ言えるように見守りたいと思います。

○ また、少数ではありますが、C、Dの評価も大事な評価ととらえて真摯に向き合ってまいりたいと
思います。

在籍者数 38名

回答者数 38名

(人)

	評価項目	A	B	C	D	
1	子どもは幼稚園に行くのを楽しみにしている	28	7	3	0	◎
2	子どもは安心して自分の思いを出し、元気に遊んでいる	28	9	1	0	◎
3	友達と一緒に遊んだり友達の遊びに刺激を受けたりして、共に過ごすことの 楽しさを味わっている	33	5	0	0	
4	遊びや集団生活に必要なきまりを知り、守ろうとする態度が育ってきている	25	13	0	0	
5	様々な物事に興味関心を示し、知的好奇心や思考力、感動する心などが育って きている	30	8	0	0	
6	自ら遊びを作り出す楽しさを味わい、幼稚園生活を楽んでいる	28	9	1	0	◎
7	子どもは遊びの楽しさを味わい、自信をもって行動できるようになってきた	24	12	2	0	◎
8	集団の中で、話をよく聞いたり、考えたり、互いに力を生かし合いながら、共 に学び合う様子が見られた(年長組のみ)	7	2	0	0	
9	自分の力で考えたり工夫しながら、あきらめずにやり遂げる達成感を味わって いる(年長組のみ)	6	3	0	0	
10	学級の中で幼児一人一人が大切にされている	31	7	0	0	
11	人に対する信頼感や思いやりの気持ち、自己抑制力などが育ってきている	19	15	4	0	◎
12	自分でできることは自分でしようとしている	21	13	4	0	◎
13	子どもは家族に、よくあいさつをしている	19	17	2	0	◎
14	子どもは身近な人や、教職員によくあいさつをしている。	14	11	11	2	△
15	子どもはしっかり体を動かし、体力が向上したり、たくましが育ったりして きている	24	11	1	2	◎
16	経験したことや考えたことなどを言葉で伝えて楽しんでいる	27	11	0	0	
17	生命を尊重する心や自然を大切にすることが育つような取り組みがされていた	24	13	0	1	◎
18	幼稚園は、地震・津波・火災・不審者などに対する防災に取り組んでいる	34	4	0	0	
19	幼稚園は一人一人の幼児の育ちを保護者に伝えている	26	11	0	1	◎
20	幼稚園は保護者が様々な幼児と関わる機会をつくり、幼児の発達などに気づく 機会をつくっている	30	7	0	1	◎
21	幼稚園は、保護者からの相談などに対して誠実に対応している	33	4	0	1	◎
22	教育方針や教育目標は、幼児や家庭・地域の実態にあったものだと思う	30	8	0	0	
23	幼稚園は教育目標や月ごとの活動について園便りやクラス便りで分かりやすく 伝えている	35	3	0	0	